

【お子さまのかぜへの市販薬使用に関する調査結果】

3人に1人がお子さまのかぜに市販薬使用経験あり 市販薬との上手な付き合い方

セルフメディケーションとは「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする」と定義されています（WHO）。セルフメディケーションを推進することは、国民の自発的な健康管理の意識を高めることになり、その際に市販薬（OTC医薬品*）を上手に活用することはセルフメディケーションを実践することにつながると考えます。

このたび株式会社池田模範堂（本社：富山県上市町、代表取締役社長：池田嘉津弘）は、お子さまの体調不良にどのように市販薬が活用されているのかを調べるために、全国の0～6才のお子さまをお持ちの20～50代の男女に「お子さまのかぜへの市販薬使用に関する調査」を実施しましたので、ご報告いたします。また、市販薬を購入した場合、確定申告することで所得控除が受けられるセルフメディケーション税制についてもご案内いたします。

*OTC医薬品とは、薬局・薬店・ドラッグストアなどで処方せん無しに購入できる医薬品のことです。

調査トピックス

- ①0～6才のお子さまのかぜ・発熱に市販薬を使用したことがある人は33.1%
- ②お子さまのかぜ・発熱に初めて市販薬を使ったきっかけは、「病院が休みだったから・行けなかったから」が33.0%
- ③症状が軽いときは市販薬で様子を見る、症状が重い・長引くときは病院に行くというように、症状に応じて「市販薬で対処／病院で診察」を使い分けている
- ④市販薬を使ったことがない方の市販薬を使わない理由で多いのは、「病院に連れていく方が安い」39.0%、「どれを選んでいいのかわからない」38.3%

調査概要

- ・調査テーマ：小児用市販薬に関する実態調査
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査期間：2023年1月11日～13日
- ・調査対象：全国の0～6才のお子さまをお持ちの20～50代の男女1226人
- ・調査委託会社：株式会社アスマーク

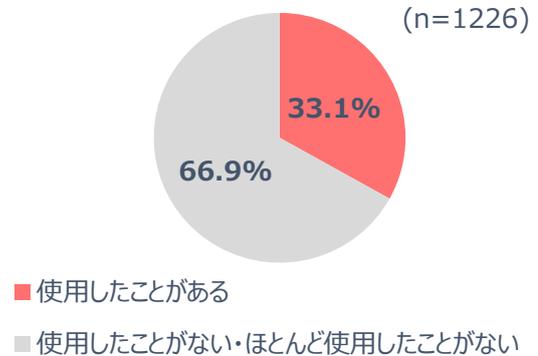
調査結果詳細

①0～6才のお子さまのかぜに市販薬を使用したことがある人は33.1%

0～6才のお子さまのかぜに市販薬を使用したことがある人は33.1%でした。お子さまの年齢が高くなるほど使用経験者は増え、6才のお子さまには50.0%の方が使用経験があるという回答でした。

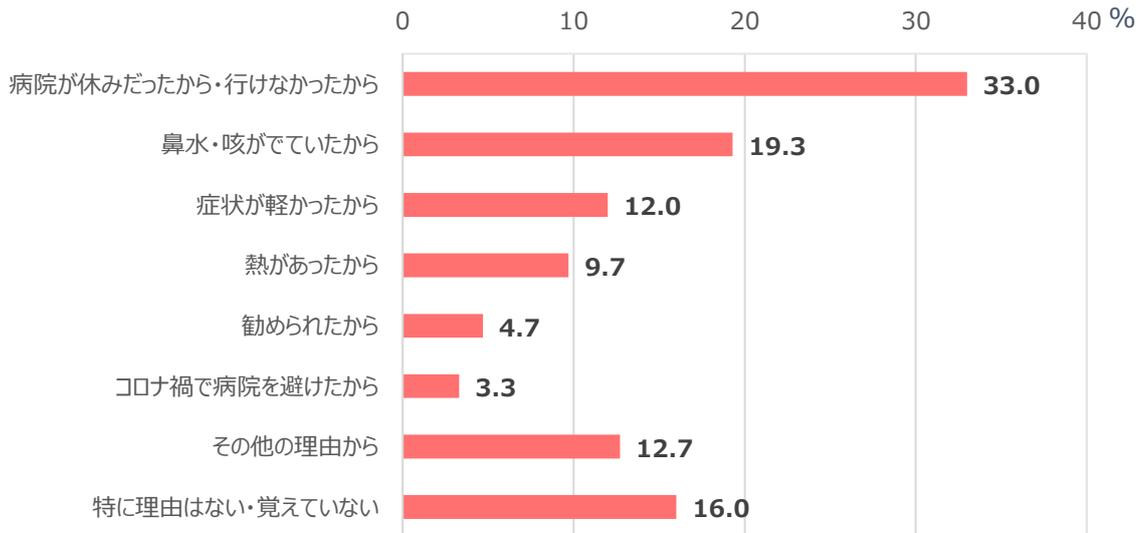
それでは、どのようなきっかけでお子さまのかぜに市販薬が使われたのでしょうか？

図1. あなたのお子さまにかぜ・発熱で市販薬を使用したことがありますか？



②お子さまのかぜ・発熱に初めて市販薬を使ったきっかけは、3人に1人が「病院が休みだったから」

図2. あなたのお子さまのかぜ・発熱に初めて市販薬を使ったきっかけを教えてください。



0～6才のお子さまに市販薬を使ったことがある人 (n=300)

自由回答を分類、複数回答

お子さまのかぜ・発熱に初めて市販薬を使ったきっかけを自由に回答していただき、8項目に分類しました。

「土日で／深夜で病院がやっていなかったから」「病院に行けなかったから」という理由でお子さまに市販薬を初めて使われた方が最も多く33.0%でした。

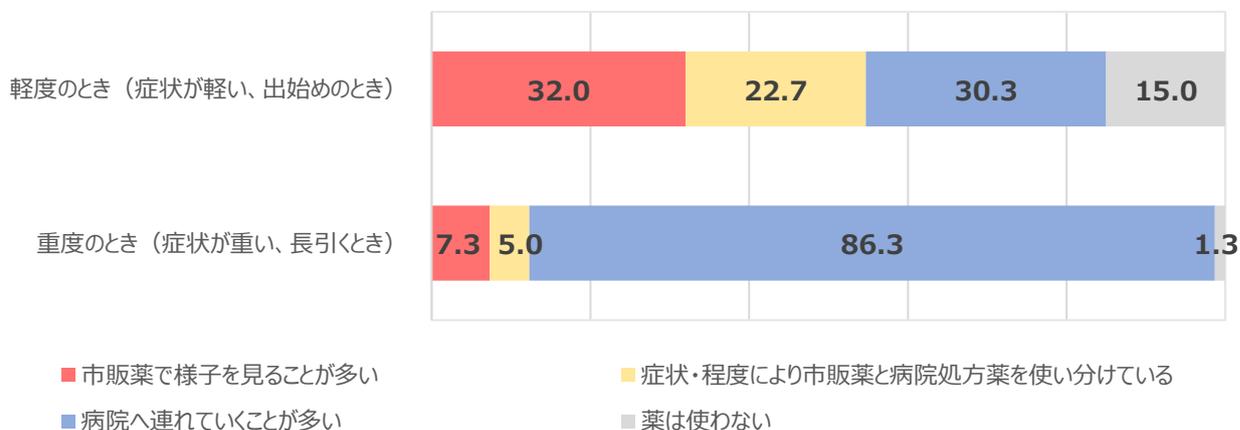
次いで多いのは「鼻水の症状があり、病院に行くほどでもなかった」「咳を抑えてあげたかった」などで19.3%、「軽いかぜ症状があったが、病院に行くほどでもない感じだった」「病院に行くほどひどくなかった」などで12.0%という結果でした。

「病院に行きたいけど、行けない」「病院に行くほどではないが、症状は軽くしてあげたい」という

思いから、初めて市販薬を使われる方が多いようです。

③ 症状が軽いときは市販薬で様子を見る、症状が重い・長引くときは病院に行くというように、症状に応じて「市販薬で対処／病院で診察」を使い分けている

図 3. 現在、お子さまが体調を崩したときにはどのような対処をしていますか。

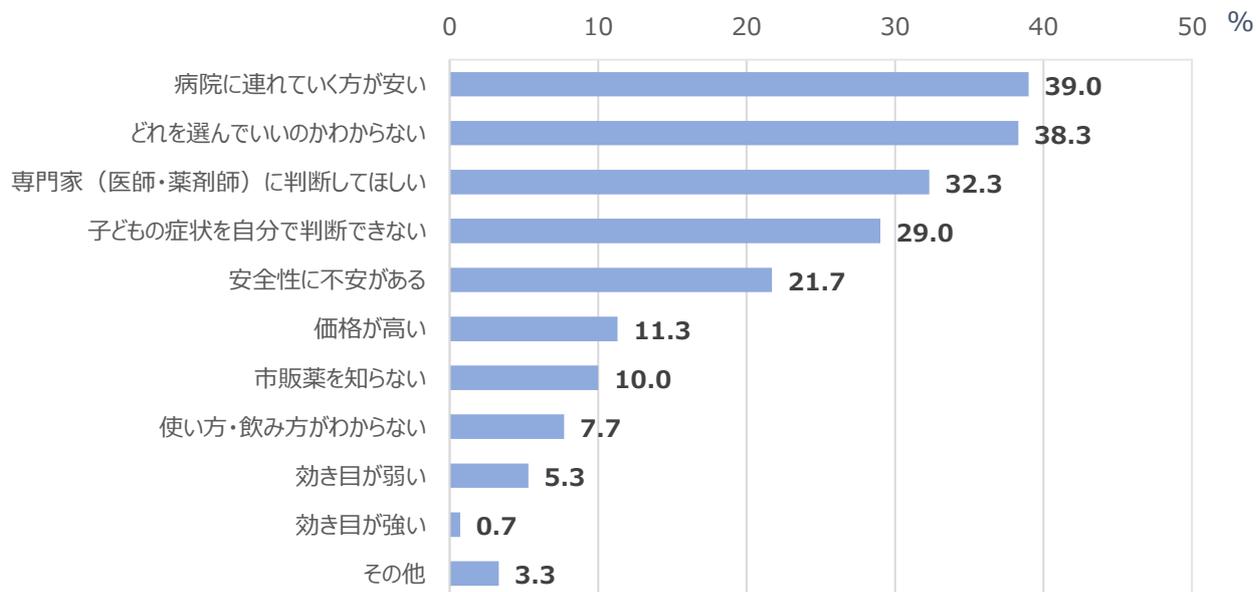


0～6 才のお子さまに市販薬を使ったことがある人 (n=300)、単位%

図 2 のようなきっかけで市販薬を使い始めてからは、約 3 人に 1 人 (32.0%) が、症状が軽度るときは市販薬で様子を見るようです。症状に応じて「市販薬で対処／病院に行く」の対処を使い分けている実態がわかりました。

④ 市販薬を使ったことがない方の市販薬を使わない理由で多いのは、「病院に連れていく方が安い」39.0%、「どれを選んでいいのかわからない」38.3%

図 4. お子さまのかぜに市販薬を使ったことのない理由をお聞かせください。(複数回答可)



0～6 才のお子さまに市販薬を使ったことがない人 (n=300)

お子さまのかぜに市販薬を使ったことがない方に使われない理由を聞いたところ、最も多いのは「病院に連れていく方が安いから」39.0%でした。医療制度の充実により病院に行きやすい環境ができてきているようです。

次いで、ほぼ同率で多い理由は「どれを選んでいいのかわからないから」38.3%でした。市販薬は多く販売されており、どれを選んでよいか悩み、なかなか購入に至らないという実態がわかりました。

調査結果を受けて

今回の調査では、約3人に1人の方がお子さまのかぜ・発熱に市販薬（OTC 医薬品）が使われており、受診できない時や、症状に応じて上手にお使いいただいている実態がわかりました。一方で約3人に2人はお子さまのかぜ・発熱に市販薬を使ったことがないことがわかりました。

お子さまは夜間や休日など病院の診療時間外にもかぜの症状が出たり、発熱したりと体調を急に崩すことがあります。そのような急なかぜのために、市販薬を備えておくのが安心です。また、かぜの引き始め、鼻水、咳など症状が軽い時にも市販薬を使って、お子さまのかぜに早めにお手当いただきたいと思います。

今回の調査では「どの市販薬を選べばよいかわからない」というお声もありました。市販薬を選ぶポイントとして、かぜからの回復を早めるためにはしっかりと体を休めることが大事ですので、カフェインなど眠気を妨げる成分を含まない小児用かぜ薬、小児用解熱鎮痛薬を選ぶのも良いでしょう。

このようにお子さまのかぜ・発熱には、市販薬を上手に活用しましょう。ただし、お子さまの症状は変わりやすいので、市販薬を飲ませたからと安心せず、きちんと様子を見てあげてください。

《こんな時に市販の小児用かぜ薬を活用しましょう》

急なかぜの備え
として

病院に行けない時に

かぜの引き始めや症
状の軽い時に

セルフメディケーション税制について

「セルフメディケーション税制」は、きちんと健康診断などを受けている人が、対象となる市販薬（OTC 医薬品）を家族の購入分を含めて年間12,000円を超えて購入した場合、確定申告することで所得控除が受けられるようになります。2022年1月より、対象となる医薬品が追加となり、ご利用しやすくなりました。

小児用かぜ薬、小児用解熱鎮痛薬にも対象商品が多くあります。パッケージに右の税控除対象マークがある、またはレシートの商品名横に★などのマークがついているものが税控除対象商品です。申請にはレシートが必要ですので、捨てずに保管しましょう。



申告には条件や上限金額がありますので、詳しくは日本一般用医薬品連合会の Web サイト「知ってトクする セルフメディケーション税制 <https://www.jfsmi.jp/lp/tax/>」をご覧ください。

商品情報

アンパンマンといっしょにかぜをなおそう！

株式会社池田模範堂は「ムヒ®のこどもシロップシリーズ」を2023年8月22日に新発売しました。

《特長》

何とかしてあげたいお子さまの症状に。効果だけでなく、ママ・パパの使いやすさにもこだわった商品設計です。

POINT1 お子さま好みの「アンパンマン」のデザイン

POINT2 お子さまが飲みやすいイチゴ味とピーチ味 ※ピーチ味は「ムヒのこどもかぜシロップ P1」のみ

POINT3 軽くて割れにくいプラスチックボトル

POINT4 お子さまが自分で簡単に開けられない誤飲対策の安全キャップ

POINT5 眠りを妨げないノンカフェイン。4大アレルゲン（卵、小麦、牛乳、大豆由来成分）無配合



計量カップデザインは
全部で4種類！

©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

《商品概要》

※全てセルフメディケーション税制対象です

- ムヒのこどもかぜシロップ S1 第②類医薬品（イチゴ味）

効能：かぜの諸症状の緩和

- ムヒのこどもかぜシロップ P1 第②類医薬品（ピーチ味）

効能：かぜの諸症状の緩和

- ムヒのこどもせきどめシロップ S1 第②類医薬品（イチゴ味）

効能：せき、たん

- ムヒのこども鼻炎シロップ S1 第②類医薬品（イチゴ味）

効能：鼻炎（くしゃみ、鼻みず、鼻づまり）

「ムヒ」は池田模範堂の登録商標です。



＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社池田模範堂 総務グループ 広報・社会貢献チーム 大泉 / 山岸
営業時間：8:30～17:30 / 月～金（祝日を除く）
電話：076-472-1133（本社代表） FAX：076-472-0092
メール：ma-koho@ikedamohando.co.jp
本社：富山県中新川郡上市町神田 16 番地 URL：https://www.ikedamohando.co.jp/

肌を治すチカラ
MUHI